

2010年3月期 第2四半期決算説明会

2010年3月期
第2四半期経営現況報告

2009年11月11日

代表取締役社長 久保田 隆



千代田化工建設株式会社

1. 業績概況

(i) カタールガス社向け第6・7系列の追加コスト

- ◆ 進捗率は80%強(2009年9月末現在)

- ◆ サブコンの配管工事等に係る生産性の低下が顕著に

- ◆ 納期達成のため以下の対応が必要と判断し、追加コスト計上
 - ①既存サブコン間の業務分担見直し
 - ②ワーカーの追加投入
 - ③現場監督者の増員

- ◆ プロジェクト管理体制の更なる強化

1. 業績概況

(ii) グループ業績

	単体	連結
既受注案件	LNG受入基地 石油、ガス分野案件	SDM事業 *1 医薬品分野案件
新規案件	非鉄精錬案件 新エネルギー分野	PLE展開 *2 カタール(CAEL社) 石油・石油化学分野ほか サウジアラビア(CPL社) シンガポール(CSL社) マレーシア(CMSB社)

*1: Shut Down Maintenance

*2: Plant Lifecycle Engineering

2. 事業環境と受注見通し

(i) マクロ環境

◆ 世界同時不況から1年

➤ 新興国を中心に立ち直りつつある

◆ 石油・ガスの産業用需要の回復期待

➤ 顧客の投資計画は着実な動きあり

原油・天然ガス価格



出展: EIA

2. 事業環境と受注見通し

(ii) 石油分野/国内顧客の動き

◆ 石油分野

- ▶ サウジアラビアにて重質油分解装置建設工事を韓国サムスンエンジニアリング社と共同受注(本年7月)
- ▶ サウジアラビアはじめ中東地域や東南アジアに加え、南米等新地域での新規案件受注に向けて営業活動展開中

◆ 国内顧客の海外進出の動きも加速

2. 事業環境と受注見通し

(iii) LNG・ガス分野

- ◆ 大型3案件のFEED遂行・EPC受注に向けて注力
 - パプアニューギニア／LNGプラント
⇒年内EPC受注者決定の見通し
 - カタール／ガス処理プラント
 - オーストラリア／イクシスLNGプラント

- ◆ カタールCAEL社による既設LNG設備に係わる多数のO&M *案件に対応中

* : Operation and Maintenance

3. 中長期経営施策の実施

1. コア事業の更なる強化ーLNG No.1シェア維持ー

- 対象国・地域の拡大(オーストラリア、ブラジル拠点)
- Floating LNGへの取組み強化

2. バランスのとれたポートフォリオの構築

- 石油精製分野への取組み
- 環境ビジネスの拡大(グリーンエナジープロジェクト本部の設立)

3. グループ連結経営の強化

- 地域密着型の営業・遂行体制の構築(カタール、シンガポール)

4. まとめ

■ 2010年3月期後半に向けた課題

- ◆ 遂行中案件、特にカタル案件にかかわる遂行体制
およびリスク管理の強化
- ◆ 受注目標の達成
- ◆ 中長期的な経営施策の着実な実施

【お問い合わせ先/Contact】

千代田化工建設株式会社

〒230-8601 横浜市鶴見区鶴見中央二丁目12番1号

IR・広報室

IR & Public Relations Office

TEL 045-506-7538

FAX 045-506-7085

e-Mail CHYOD@ykh.chiyoda.co.jp

URL <http://www.chiyoda-corp.com/>

この資料には、2009年11月11日現在の将来に関する見通しおよび計画に基づく予測が含まれています。経済情勢の変動等に伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があります。